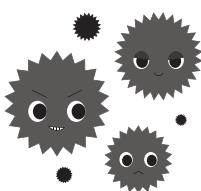


流行りの季節がやつてきました

インフルエンザや 感染性胃腸炎に 気をつけよう！



「せきエチケット」を 守りましょう

感染防止のポイント

周囲の人のせきやくしゃみで、嫌な思いをしたことはありませんか？マスクをしないでせきやくしゃみをすると、そのしぶきは2メートル程度飛びといわれています。「せきエチケット」は、周囲の人に対する思いやりのマナーです。

冬は、インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症が流行する時期です。一人一人が正しい知識と予防法を身に付けて、元気に冬を過ごしましょう。

▼インフルエンザ

○主な症状

通常1～3日間の潜伏期間を経て、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。

○予防法

外出後や食事前など、こまめにうがいやせつけんで手洗いする。マスクを着ける。部屋の湿度(50～60%)や水分補給など、部屋や口の中が乾燥しないようにする。

冬は、インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症が流行する時期です。一人一人が正しい知識と予防法を身に付けて、元気に冬を過ごしましょう。

▼インフルエンザ

○もしかかってしまったら

※高齢者(65歳以上)等の方に対し、インフルエンザ予防接種の助成を実施しています。詳しくは町広報10月号をご確認ください。

○主な症状

・早めに医療機関を受診する。
・睡眠を十分にとり安静にする。
・水分を十分に補給する。
・咳やくしゃみ等の症状がある時は、周りの方へうつさないために、マスクを着用する。

▼感染性胃腸炎 (主にノロウイルス)

・せきやくしゃみをするときは、必ずマスクを着けます。
・せきやくしゃみが出るときは、必ずマスクを着けます。
・咳やくしゃみをするときは、ティッシュペーパーなどで口と鼻を押さえ、周囲の人から顔を背けましょう。

○もしかかってしまったら

※消毒は、加熱か次亜塩素酸ナトリウム(家庭用塩素系漂白剤などを薄めて使う方法が有効)。
・カキなどの生食は、「生食用」と表示されたものに限る。

○主な症状

・人ごみや繁華街への外出を控え、無理をして学校や職場等に行かない。
※インフルエンザ発症前日から発症後3～7日間はウイルスが排出するといわれています。そのため、ウイルスを排出している間は、外出を控えるようにしてください。

○予防法

・手洗い前に、腕まくりをして腕時計・指輪等は外します。
・水洗いだけではなく、必ずせっけんをつけて手を洗います。指先、指の間、爪や手首、親指の周りは汚れが残りやすいので、しっかりと洗います(目安は30秒です)。

・乾いたタオルで水分を十分に拭き取ります(※タオルは個人専用にします)。
・しつかり洗つたら流水で丁寧にせっけんを流します。
・手洗い後は、個人専用タオルを使う。
・便や嘔吐物には直接触れず、マスクとビニール手袋を着用して処理する。
・入浴の順番は、家族の最後にする。

【問い合わせ先】

・保健福祉課健康推進係

(シルバープラザ内)

☎ 0137-64-2111
・熊石総合支所住民サービス課
☎ 01398-2-3111

後などは、せっけんで手を洗う。

感染防止のポイント

「正しい手洗い方法」

※ノロウイルスは、アルコール消毒では十分な効果を得られないため、スプレー式アルコール消毒剤の手指すり込みでは不十分です。

・手洗い前に、腕まくりをして腕時計・指輪等は外します。
・水洗いだけではなく、必ずせっけんをつけて手を洗います。指先、指の間、爪や手首、親指の周りは汚れが残りやすいので、しっかりと洗います(目安は30秒です)。

※せっけんは、固形タイプではなく、ツッシュボトルタイプをお勧めします。

・乾いたタオルで水分を十分に拭き取ります(※タオルは個人専用にします)。
・しつかり洗つたら流水で丁寧にせっけんを流します。
・手洗い後は、個人専用タオルを使う。

・水を止める際は、まず蛇口に水をかけ汚れを落としてから水を止めましょう。
・乾いたタオルで水分を十分に拭き取ります(※タオルは個人専用にします)。
・手洗い後は、個人専用タオルを使う。

○もしかかってしまったら

※下痢や嘔吐などの症状がな

くなるとも、通常1週間程

度、長いときには1ヶ月程

度、ウイルスの排泄が続く

ことがあるので、症状が改

善した後も注意が必要です。